

はじめに

フランス語の世界にふたたびようこそ。

この教材は中級フランス語の教科書として、初級を終えた皆さんが学びをさらに深めることを目標としています。が同時に、『LA COOP 1 協同学習で学ぶフランス語』の続編として、多文化共生社会（世界）の実現を夢見つづけています。

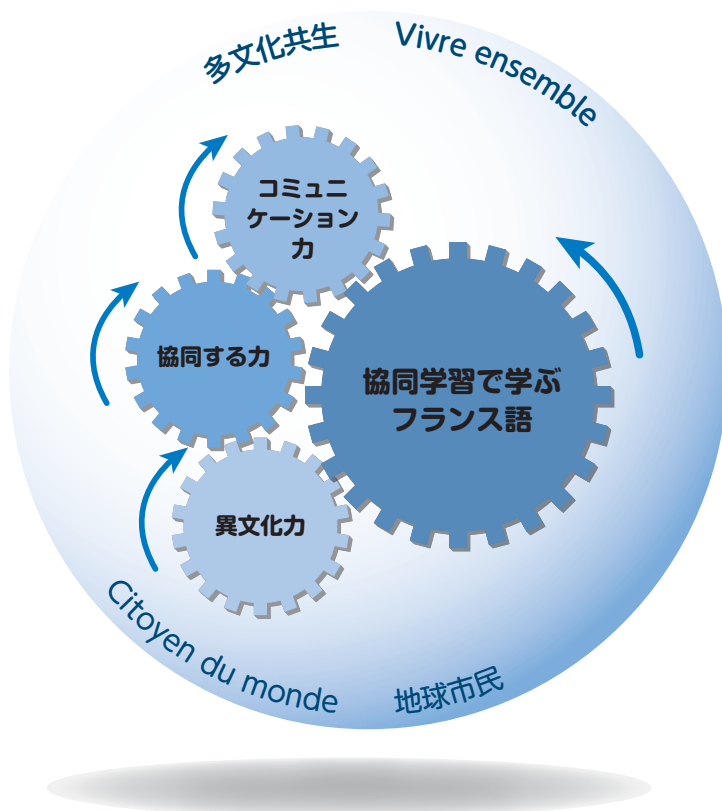
●協同学習

そのために、ふたたび協同学習を通じてフランス語を学びます。

協同学習で学び合うことによって、学習が楽しく、容易になることを皆さんはすでに実感しているでしょうが、助け合いながら学ぶと、助け合うことも同時に学べます。これが協同学習のよいところですね。協同学習は、協同（学び合い、助け合い、励まし合い、認め合い、高め合い）を促進する学習法ですから、フランス語を学ぶために協同しているうちに、**協同する力**を身に着けることができます。また、協同しているうちに、協同するための**コミュニケーション力**や、異なる他者と共生していくための**異文化力**が向上していきます。

●多文化共生をめざして

このように、協同学習でフランス語を学ぶことによって皆さんは、協同力、コミュニケーション力、異文化力を身につけ、社会に出て活躍するための準備をしていくわけですが、そうした力をつけた皆さんは**多文化共生社会**（世界）の実現に貢献することができます。多様な人、集団、民族や国家が平和的に共生できるようにするにはどうしたらよいのか、熟考してみてください。



●各課の構成

各課は、フランス語学習を通じて、皆さんが多文化共生について考え、その実現のために協同力をつけられるよう構成されています。逆説的ですが、その過程でフランス語力もグングン伸びていきます。読む力を中心としていますが、話す、書く、聞く力にも配慮しています。

各課の最初に^{ディアローグ}対話文があります。フランス語研修に出かけた女子学生カリン(Karin)が、様々な出会いを通じて多文化共生について考えるという内容になっています。

次に、この対話文を読み解くための**文法学習**が来ます。そして文法事項を会話に応用する**Conversation**を行います。つづく**Lecture du dialogue**(対話文の読解)では、①音読練習、②対話文の文法、語法や文化社会的背景の説明、③フランス語での大意の要約、④自己の経験や他の知識との関連付けによる解釈をグループで学び合います。

さらに対話文を掘り下げるために、そこに含まれるフランス(語圏)社会や世界の多文化共生にかかわるテーマを調べて**グループプレゼンテーション**を行います。もっとも協同力が試される活動です。

以上の活動では**理解の6側面**(説明、解釈、応用、多様な観点、共感、自己認識)がカバーされており、対話文の**深い理解**を得ることができます。

フランス語の実用性は今のところ、さほど大きくありませんし、フランス語の詳細はすぐに忘れてしまうかもしれません。しかしフランス語学習を通じて学んだことは、より持続性をもった**知恵(教養)**や**社会的スキル**に結晶し、皆さんの人生やこれからの世界を豊かにすることでしょう。外国語学習によってしか見えない世界や、得られぬ力があるのです。

●4人組で世界を学ぶ

授業は、4人組での学び合いをベースとして進みます。協同学習です。チームで課題達成のために協力しますが、メンバー間には意欲や能力や力関係の差異があって、うまくいかないこともしばしばです。しかし、そこにこそ大きな学びのチャンスがあります。互いに異なっており、ぶつかり合うこともある人々が、どうやったら共生していけるのかを学んでください。私たちの生きる世界も同じ問題を抱えているのですから。

●互いの学びに関心をもつ

「共生」のための1つのカギは、お互いに耳を傾け合うことかもしれません。

●Q.P.V.E.: 多文化共生のための問い

多文化共生というテーマについては、各課の冒頭に**Questions pour vivre ensemble: 多文化共生のための問い**としても提起されています。協同、エネルギー政策、治安、人権、支配、大量虐殺、ユネスコ、ワークライフバランスとつづいて、多文化共生のためにわたしたちには何ができ、何から変えていったらよいかという**最終的な問い**に行きつきます。すべての問いは決まった答えのないオープンな問い(**question ouverte**)ですから、様々な角度からの考察を仲間とともに深めてください。

小学校から始まる学校教育の最終段階が大学ですが、以上のフランス語学習を通じて皆さんが、**多文化共生力**(協同力、コミュニケーション力、異文化力)のある**職業人**、**社会人**、**地球市民**に育ってくれることを祈ってやみません。

授業活動の説明

● 4人組で座ります

授業は4人組での学び合いをベースとして進みます。だいたい5週間ごとに組替えをします。5週間の間は毎回同じグループで同じ座席に座るようにしてください。

● 4人組の作り方

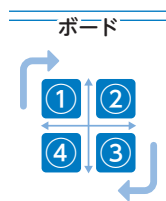
円陣を組んで、ランダムに4人組を作ります。円陣の並び方は、誕生日順や出身高校または名前のアルファベット順等、先生が決めます。

たとえば4人組を7組作るには、

- 1) 円陣で時計回りに1～7を数えます。
- 2) 同じ番号の人が4人集まって、1組となります。

● ラウンド＝ロビン

4人組の左前の人が①で、時計回りに②③④と番号をつけておきます。話し合いやエクササイズでは、X番の人から順番に回していきます。順番に回すことを「ラウンド＝ロビン」と呼びます。授業ではラウンド＝ロビンを頻繁に使います。



● ウォームアップ

授業の最初に、グループ作りのためのエクササイズをします。4人組で行います。先生からテーマが与えられるので、まずは1人で考えて準備をします。X番の人から順番に発表します(ラウンド＝ロビン)。

誰かが発表しているときは、さえぎらずに傾聴します。傾聴(アクティブ＝リスニング)とは、しっかりと耳を傾けることです。リアクションしなくなったら心の中にメモをとり、4人の発言が終わったら発言します。

ウォームアップのテーマは各課冒頭の「多文化共生のための問い」をはじめ、多彩です。毎回着実に考える力、話す力、聴く力、話し合う力をつけてください。

ラウンド＝ロビン

1. 傾聴
2. さえぎらない
3. 心のノート

● 学習目標と達成度チェック

各課の最初に「学習目標」が提示されています。○ (80% 以上), △ (79~60%), × (59% 以下) などで達成度をチェックしましょう。また、目次の「学習目標」を利用して、全体的な達成度をチェックしましょう。

● Lecture du dialogue ⇒ 綴じ込みページを開いて練習！

対話文の読解は、Lecture du dialogue の5つのエクササイズに従って行います。エクササイズの手順は綴じ込みページに詳しく書かれています。綴じ込みページを開いて練習してください。

● ウェブサイト

本書のウェブサイトを用意しました。録音、エクササイズ、参考資料などがあります。授業外での自立的な利用を期待します。

<http://www.geocities.jp/iwat33jp/lacoop2.html> 

● 対話文の録音

各課の対話文は2回録音されています。1回目はナチュラルスピードですので、聞き取りの練習をしましょう。2回目はポーズが入っているので、声を出してリピートしたり、逐次通訳の練習に用いてください。

● 振り返り

授業の終わりには「振り返り」をします。ウォームアップ同様に、まずは1人で考え、その後で順番に発表します(ラウンド=ロビン)。フランス語運用能力、コミュニケーション力、異文化力、協同力などを振り返ってください。記録紙がウェブサイトにありますので使ってください。記録紙にまず記録した上で、その内容を皆にわかりやすく伝えます。

Voilà, c'est tout.

Et bon courage !

音声ダウンロード&ストリーミングサービス(無料)のご案内

<http://www.sanshusha.co.jp/onsei/isbn/9784384232080/>

本書の音声データは、上記アドレスよりダウンロードおよびストリーミング再生ができます。ぜひご利用ください。



目次 および 達成度チェック

*目次の□内に、○(80%以上)、△(79～60%)、×(59%以下)などを書き入れて、達成度をチェックしよう。

LEÇON	学習目標	ページ
1	<p>Dans l'avion : Est-ce que vous avez compris l'annonce du pilote ?</p> <p><input type="checkbox"/> ① 辞書やウェブを使いこなす Maîtriser le dictionnaire et le web</p> <p><input type="checkbox"/> ② 複合過去形の文章が作れる Le passé composé</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 複合過去形を使って会話ができる Le dialogue au passé composé</p> <p><input type="checkbox"/> ④ フランスまでのグループ旅行を企画できる Voyage en France en groupe</p> <p><input type="checkbox"/> Q.P.V.E.※ : グループでの協同作業を成功させるためには、どのようなことに留意したらよいでしょうか。</p>	2
2	<p>Chez Keiko : Euh, laissez-moi réfléchir.</p> <p><input type="checkbox"/> ① 複合過去形に習熟する Perfectionner le passé composé</p> <p><input type="checkbox"/> ② 命令文が使える L'impératif</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 疑問詞を使って様々な質問ができる L'interrogation</p> <p><input type="checkbox"/> ④ フランスのエネルギー政策について説明できる La politique énergétique française</p> <p><input type="checkbox"/> Q.P.V.E. : 原子力発電のリスクに、国際社会(私たち)はどのように対処すればよいのでしょうか。</p>	11
3	<p>Paris métro : Je crois que j'y arriverai.</p> <p><input type="checkbox"/> ① 未来形が使える Le futur simple</p> <p><input type="checkbox"/> ② ジェロンディフが使える Le gérondif</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 代名詞 y が使える Le pronom neutre y</p> <p><input type="checkbox"/> ④ パリの地下鉄が利用できる Prendre le métro à Paris</p> <p><input type="checkbox"/> Q.P.V.E. : パリをはじめとする大都市の治安は、日本と比べてあまりよくありません。それはなぜでしょうか。</p>	18
4	<p>Chez Paul à Versailles : Les gens du peuple se sont mis en colère.</p> <p><input type="checkbox"/> ① 代名動詞の複合過去形が使える Le passé composé des verbes pronominaux</p> <p><input type="checkbox"/> ② 強調構文が使える La mise en relief</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 複文が作れる La phrase complexe</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 「マリー・アントワネット」「フランス人権宣言」について説明できる Marie-Antoinette et la Déclaration des Droits de l'Homme et du Citoyen de 1789</p> <p><input type="checkbox"/> Q.P.V.E. : 人権(自由権や社会権)が保障されない社会とは、どのような社会でしょうか。</p>	25

LEÇON	学習目標	ページ
5	Michel présente le Québec : Ma grand-mère était Iroquoise. <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① 複合過去形に熟達する Maîtriser le passé composé <input type="checkbox"/> ② 半過去形が使える L'imparfait <input type="checkbox"/> ③ 複合過去と半過去の違いがわかる Le passé composé et l'imparfait <input type="checkbox"/> ④ ケベック州を紹介できる Présenter le Québec <input type="checkbox"/> Q.P.V.E. : 他国の支配下に置かれるというのは、どのような体験でしょうか。 	32
6	Construire la paix : Si les gens étaient comme eux, ... <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① 条件法現在形が使える Le conditionnel présent <input type="checkbox"/> ② 指示代名詞が使える Les pronoms démonstratifs <input type="checkbox"/> ③ 関係詞がわかる Les pronoms relatifs <input type="checkbox"/> ④ ルワンダ虐殺とジェノサイドが説明できる Le génocide rwandais <input type="checkbox"/> Q.P.V.E. : ジェノサイドはなぜ起きるのでしょうか。 	38
7	À l'Unesco : L'Unesco a été fondée pour ne jamais répéter la guerre. <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① 受動文が使える La voix passive <input type="checkbox"/> ② 過去分詞の形容詞的用法がわかる Le participe passé comme adjectif <input type="checkbox"/> ③ 接続法現在形が使える Le subjonctif présent <input type="checkbox"/> ④ ユネスコについて説明できる L'Unesco <input type="checkbox"/> Q.P.V.E. : ユネスコ憲章は「人の心の中にこそ平和の砦を築かなければならない」と主張しています。それはなぜでしょうか。 	44
8	Les vacances : Est-ce que je peux vous poser une question ? <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ① 許可を求めることができる Demander la permission <input type="checkbox"/> ② 大過去、前未来を説明できる Le plus-que-parfait et le futur antérieur <input type="checkbox"/> ③ フランス人と有給休暇 Les français et les congés payés <input type="checkbox"/> Q.P.V.E. : 日本の有給休暇制度やその取得率は、フランス人の目にはどのように映るでしょうか。 	51

*Q.P.V.E. : Questions pour vivre ensemble (多文化共生のための問い)

LEÇON	学習目標	ページ
9	<p>Lettre de remerciement : Je voudrais que le monde soit moins intolérant.</p> <p><input type="checkbox"/> ① 条件法過去形が使える Le conditionnel passé</p> <p><input type="checkbox"/> ② 動詞の「法」が説明できる Les modes du verbe</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 時制の全体像を説明できる Le régime temporel</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 話法と時制の一致を理解し、説明できる Le discours direct et indirect et la concordance des temps</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 多文化共生について議論できる Discussion pour vivre ensemble</p> <p><input type="checkbox"/> Q.P.V.E. : 多様な人や集団(民族や国家)が平和的に共生できる社会(世界)を作るために、私たちは何をしたらよいでしょうか。何から変えていけばよいでしょうか。</p>	58
文法補遺	<ul style="list-style-type: none"> ● 人称代名詞の整理 ● 代名詞 en ● 最上級 ● 特殊な比較表現 ● 特殊な複数形 ● 疑問形容詞 ● 単純過去形 	64
INDEX	<ul style="list-style-type: none"> ● 文法項目 ● 文化的項目 	67
	動詞活用表	70

CONTRAT (契約)

各課の学習目標を身につけていくと、たとえば下の例のような文章を友人と協同しながら、深く理解できるようになります。

このレベルを達成目標として、先生と契約を結びましょう。

自分でサインしたら、先生にもサインをもらいましょう。

学習者

私は本書の学習終了後、下の例のような文章を皆と協力しながら、深く理解できるようになることを誓います。

署名

教員

私は学習者が本書の学習終了後、下の例のような文章を皆と協力しながら、深く理解できるよう支援することを誓います。

署名

先生の後について発音してみよう。

Après un mois de stage linguistique, Karin rentre au Japon et écrit une lettre de remerciement à Keiko et Pierre.



03

Chère tante Keiko, cher oncle Pierre,

Je viens de rentrer au Japon lundi. Mon voyage s'est bien passé. Dans l'avion, j'ai fait la connaissance de Thomas, un français qui va rester au Japon pendant trois mois. Il m'a dit qu'il n'avait pas beaucoup étudié le japonais avant de venir, et qu'il avait un peu peur de se sentir seul. Alors je lui ai dit de venir souvent me voir.

Moi aussi, si je n'avais pas pu séjourner chez vous, je me serais sentie toute seule. Je vous remercie infiniment pour votre hospitalité.

Je suis très contente d'avoir partagé votre quotidien pendant un mois. Je me souviendrai toujours du petit déjeuner français qui est délicieux ! Maintenant aussi, au Japon, je mange du pain avec du beurre et de la confiture au petit déjeuner !

J'étais ravie de revoir mon cousin Taïga. Ensemble, nous sommes allés au château de Versailles qui était magnifique ! J'y ai acheté un beau livre de photos parce que Taïga m'avait recommandé de prendre un souvenir à la boutique du château et que j'avais oublié mon appareil-photo.

En plus, grâce à vous, j'ai maintenant un ami canadien du Québec ! Je pense que j'irai voir Michel et sa famille au Québec. Je ne connais pas du tout, donc je suis enchantée par ce voyage ! Taïga est intéressé aussi et quand il aura fini ses études, il viendra avec moi. C'est super !

Ce voyage et nos discussions m'ont beaucoup fait réfléchir sur ma vie et sur ce que je vais faire plus tard. Le monde a besoin d'amour et de paix. Il faut apprendre à bien s'écouter. Je vais essayer avec mes amis japonais de faire des débats et des discussions pour voir ce qu'on peut faire et ce qu'on peut changer. Je voudrais que le monde soit un peu moins intolérant.

Je vous embrasse bien fort et à bientôt en France ou au Japon !

Karin

Pardon ?

すみません (もう一度言ってください)。

En français, comment dit-on « » ?

～はフランス語で何といいますか？

On dit « ».

～といいます。

« », qu'est-ce que ça veut dire ?

～はどういう意味ですか？

Ça veut dire, « ».

～という意味です。

Comment ça se prononce ?

どう発音しますか？

Ça se prononce, « ».

～と発音します。

Comment ça s'écrit ?

スペルは？

Ça s'écrit « ».

スペルは～です。

つづり字記号 Les signes orthographiques



アクセサン・テギュ (右上がりの点)

é

café cinéma



アクセサン・グラープ (右下がりの点)

à è ù

père où



アクセサン・シルコンフレックス (帽子)

â ê î ô û

être hôtel



セディーユ (シッポ)

ç

ça français



トレマ

ë ï ü

Noël Taïga



アポストロフ

l'eau j'habite



トレ・デュニオン (横棒)

est-ce que

おもな登場人物 Les personnages principaux



Karin

日本の大学でフランス語を学ぶ女子学生。パリに語学研修に出かけ、叔母の Keiko の家にホームステイをする。

Keiko

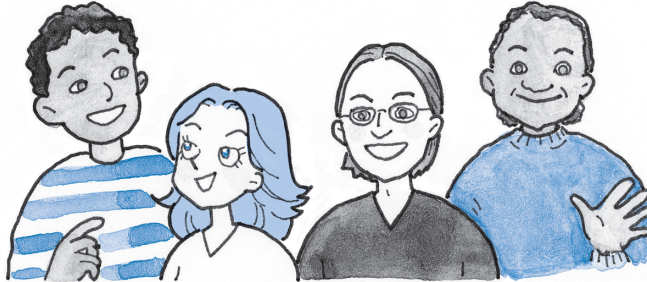
九州出身、パリ在住の医師。「国境なき医師団」で働く。Taïga の母。

Pierre

Keiko の夫。
ユネスコ本部で働く。

Stéphanie

「国境なき医師団」で働く放射線医学の専門家。
Keiko の同僚。



Taïga

Karin のいとこ。
Keiko の息子。
Strasbourg 出身の医学生。

Marie

Taïga のガールフレンド。

Michel

Paul の隣人。
ケベック出身。
ユネスコ本部で研修中。

Paul

Pierre の弟。
Karin の叔父。
Versailles 在住。

LEÇON 5

Michel présente le Québec

Ma grand-mère était Iroquoise.

【達成度チェック：□内に、○ (80% 以上)、△ (79 ~ 60%)、× (59% 以下) などを書き入れて、達成度をチェックしよう。】

学習目標

- | | |
|--|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ① 複合過去形に熟達する | Maîtriser le passé composé |
| <input type="checkbox"/> ② 半過去形が使える | L'imparfait |
| <input type="checkbox"/> ③ 複合過去と半過去の違いがわかる | Le passé composé et l'imparfait |
| <input type="checkbox"/> ④ ケベック州を紹介できる | Présenter le Québec |



Questions pour vivre ensemble ▶▶ 多文化共生のための問い

他国（他民族）の支配下に置かれるというのは、どのような体験でしょうか。



DIALOGUE

ヴェルサイユの叔父 Paul の家で、Michel (Mi) が皆にカナダのケベック州を紹介します。
Chez l'oncle Paul, Michel présente à tout le monde le Québec^{▶1} au Canada.

Mi : Oui, je viens du Québec et c'est pourquoi^{▶2} je parle avec un petit accent québécois. Le Québec est très loin de la France. Mais au 16e siècle, le Roi de France a envoyé des bateaux sur le continent américain. Ils ont traversé l'Atlantique et sont arrivés dans la baie de Saint-Laurent. Ils ont remonté encore le fleuve Saint-Laurent, qui, à cet endroit, commence à se faire étroit^{▶3}. C'est là, l'origine du Québec. Quand les Français ont rencontré là-bas les autochtones amérindiens, ceux-ci^{▶4} appelaient l'endroit le « québec »^{▶5}, parce que le mot voulait dire^{▶6} justement « l'endroit qui se fait étroit ». Après les Français, les Anglais sont arrivés et ont remonté le fleuve plus loin et ils ont traversé le continent en colonisant jusqu'à la côte Pacifique.

- ▶ 1 le Québec: : le をつけると「ケベック州」を指す。le のない Québec は、州都ケベックシティー (La ville de Québec) を指すので注意が必要。
- ▶ 2 C'est pourquoi「だから」
- ▶ 3 se faire ~ 「~になる」
- ▶ 4 ceux-ci : 指示代名詞 (Cf. L6, p.41) les autochtones amérindiens (アメリカ先住民) を指す。
- ▶ 5 appeler + 目的語 + 補語 「目的語を補語と呼ぶ」
- ▶ 6 voulait dire < vouloir dire ~ 「~という意味」 voulait は vouloir の半過去形。

Karin : Les Canadiens ont donc trois ancêtres : français, anglais et amérindiens.

Mi : Voilà. Et je suis très fier d'avoir ces trois ancêtres. Je suis un vrai Canadien.

Ka : C'est vrai. Michel, tu as quelque chose d'asiatique⁷.

Mi : Oui, ma grand-mère était Iroquoise. On dit que⁸ génétiquement, les Amérindiens sont très proches des Japonais.

Ka : On dirait que les Asiatiques et les Européens se sont rencontrés en toi. C'est extraordinaire !

Tout le monde : Oh Karin, tu as beaucoup d'imagination.



▶ 7 quelque chose d'asiatique < quelque chose de + 形容詞「～的なもの」

▶ 8 on dit que S + V「～と言われている」。on dirait que S + V(条件法)はon dit queの婉曲表現「～と言えるかも」

複合過去形 Le passé composé



- 1 2人組になって、本文の複合過去形（助動詞＋過去分詞）に色を塗ろう。終わったら4人組で答え合わせをします。指名された人が、クラス全体に答えを発表します。

半過去形 L'imparfait

アクションが背景か

- (1) 次の項目を説明できるよう準備しなさい [X分]。
 (2) X番の人が立ち上がってグループに説明します。

I 複合過去形との違い La différence entre l'imparfait et le passé composé

フランス語の過去形には複合過去形の他に、半過去形があります。複合過去が「過去における完了したアクション」(~した)を表すとすると、半過去はそうした「アクションの背景」を言い表すために用いられます。過去における動作の継続(~していた), 状態(~だった), または習慣的な行為(~したものだ)などを表します。



- 例1 Les Français **ont rencontré** là-bas les autochtones amérindiens.

フランス人たちはそこでアメリカ先住民に出会いました。

- 例2 Les autochtones amérindiens **appelaient** l'endroit le « québec ».

アメリカ先住民はその場所をケベックと呼んでいました。

例1の文は複合過去を用いてアクションを示し、例2の文は半過去形を用いて状況を説明しています。

II 半過去形の作り方

- 1 半過去形は、語幹に次のような語尾をつけて活用します。

アイス、アイス、アイター！ jeais, tuais, ilait, nousions, vousiez, ilsaient

- 2 語幹は、nous の現在形から -ons を取って作ります。

appeler ⇒ nous appelons ⇒ **appel-** vouloir ⇒ nous voulons ⇒ **voul-**
 finir ⇒ nous finissons ⇒ **finiss-**

- 2 être (語幹：ét-) と avoir (語幹：av-) の半過去形を書いてみよう。

主語	être	avoir
je	j'étais	
tu		tu avais
il / elle		
nous	nous étions	
vous		vous aviez
ils / elles		





À quatre

- 3** 各自、上の表にならって **vouloir** と **finir** の半過去形の活用表を書きなさい。できたら 4 人グループで確認しなさい。X 番の人が「出張先生」になります。
Ecrivez les conjugaisons des verbes « vouloir » et « finir » à l'imparfait. Une personne désignée devient le professeur en déplacement.



À deux

- 4** 2 人組になって、本文の半過去形に色を塗ろう。終わったら 4 人組で答え合わせをしよう。指名された人が、クラス全体に答えを発表します。
Par groupe de deux, coloriez les verbes à l'imparfait dans le dialogue. Puis comparez votre travail avec le reste du groupe. Une personne désignée du groupe présente son travail à la classe.



- 5** 複合過去と半過去の使い分けを練習します。



À quatre

- ① 下の () 内の動詞を、複合過去形か半過去形にして書き入れなさい。
② X 番の人から回答しなさい。答えが適切ならば、残りのメンバーは **Très bien!** と言います。適切でない場合は話し合いなさい。終わったら順番に回します (ラウンド=ロビン)。
(ア) **Quand Karin (être) lycéenne, elle (aller) souvent à Harajuku.**
カリンが高校生の頃、よく原宿に行ったものです。
(イ) **Quand Karin (rencontrer) Taiga, elle (avoir) 3 ans.**
カリンがタイガと出会ったとき、彼女は 3 歳でした。
(ウ) **Quand je (te téléphoner), qu'est-ce que tu (faire) ?**
電話したとき、何してたの？



- 6** 本書のウェブサイトにある [Le français en musique](#) をクリックして、L5 を練習しなさい。



ケベックシティからサン・ロラン湾方面を望む。広大なサン・ロラン河が右後方で急速に狭まっていくのがわかる。



Conversation

Voir le manuel français.

複合過去形と半過去形を使った会話の練習をします。

- 1 各自、今までに習った半過去と複合過去の文を復習しなさい。
- 2 2人組になって、下の例を参考に会話文を作り練習しなさい(メモを見なくてもできるようにしなさい) [X分]。会話が30秒以上続くよう工夫しなさい。
- 3 4人組で互いの会話文を発表しなさい。
- 4 全員立ち上がりなさい。自分のグループ以外の人と出会って、互いの会話文を練習しなさい(メモを見なくてもできるようにしなさい)。
- 5 指名されたペアが発表します。

例1 Salut ! – Salut ! – Quand je suis rentré(e), qu'est-ce que tu faisais ?
– Eh bien, je regardais la télé.

例2 Ça va ? – Bien. Et toi ? – Bien, merci. Dis, tu avais quel âge, quand tu es parti(e) du Québec ? – Eh bien, j'avais 6 ans.

例3 Bonjour ! – Bonjour ! – Le Roi de France a envoyé des bateaux sur le continent américain. Ça, je sais. Mais c'était quand ?
– Eh bien, c'était au 16e siècle. – Ah bon.



29

Présentation du groupe グループプレゼンテーション

Voir le manuel français.

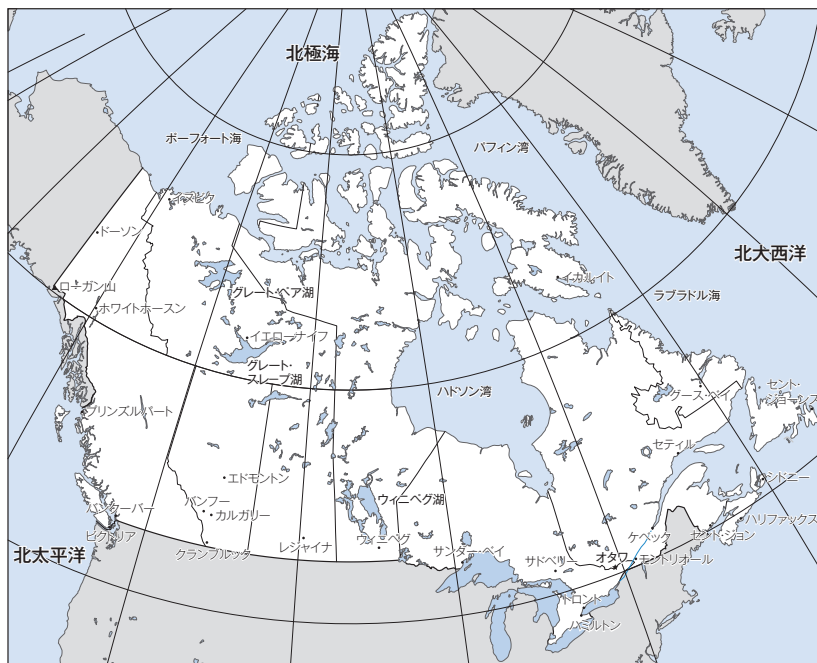
皆さんはフランス語圏のカナダ人で、今度、親善大使として日本の大学のフランス語クラスに派遣されます。教室の左半分のグループは「ケベック州」について、右半分のグループは「イロコイ族」についてプレゼンしなさい。他国(他民族)の支配下に置かれるとはどのような体験でしょうか。「ケベック人」や「イロコイ人」になったつもりで、日本の大学生に説明しなさい。

- 1 準備：次回の授業で行うプレゼンの準備をします。プレゼンのアウトラインと分担を決めます。スマホを活用しましょう [10分]。準備の際には、各自フランス語のキーワードを2語以上用意しなさい。
- 2 プレゼン当日：リハーサル [10分] の後、教室の左半分のグループが、右半分のグループのプレゼンを聞きに行きます [3～4分]。終わったら交代します。
- 3 指名されたグループが、クラス全体にプレゼンします。準備とプレゼンにあたっては、全員が平等に参加するように留意します。プレゼンの最後に、各自の担当(貢献)を説明します。

LECTURE DU DIALOGUE



- ① 音読練習：いっしょ読み Lisons ensemble. / 本文を音読できるようにします。
- ② 出張先生 Professeur en déplacement / 本文を説明できるようにします。
- ③ 回し訳 Traduisons en japonais à tour de rôle. / 音読と日本語訳の練習をします。
- ④ 大意の把握 Résumé / 対話文は全体として何が言いたいのでしょうか。
- ⑤ 深い理解 Lecture approfondie / 本文の理解を深めます。



Le Canada: Où est la baie de Saint-Laurent ?



作文 THÈMES

1. フランス人は大西洋を渡って、サン・ロラン湾に到着しました。
2. 君には日本的なところがあるね。
3. 私は日本人であることに誇りをもっています。

QUESTIONS SUR LE DIALOGUE



本書のウェブサイト参照して、 [Les questions sur le dialogue](#) に答えなさい。